

## 令和5年度第1回村上市介護保険運営協議会 会議録

1. 開催日時：令和5年7月27日（木）午後1時25分～午後2時50分

2. 開催場所：村上市役所 4階 大会議室

3. 出席者：（敬称略）

【出席委員】 富樫孝平、伊與部純夫、富樫忠彦、加藤良成、竹前恵子、菅原実雄、齋藤 純、青山育美、佐久間秀治、戸澤和夫、郷内 学、相馬 渉、小田悦男、山下ゆかり、佐藤美和、大滝紀子、西村 治 17名

<欠席委員：野沢 悟、土岐裕也、石井雄士>

【事務局】 介護高齢課 大滝課長、瀬賀課長補佐、山田係長、石山係長、川村課長補佐、本保副参事、志田(真)係長、五十嵐課長補佐、志田(亜)係長、保健医療課 押切課長、荒川支所地域振興課 佐藤課長補佐、神林支所地域振興課 渋谷課長補佐、朝日支所地域振興課 玉木課長補佐、山北支所地域振興課 齊藤課長補佐 14名

4. 会議次第

1. 開 会 午後1時25分

2. あいさつ 大滝介護高齢課長

3. 委員紹介

4. 会長及び副会長の選出について

会 長 西村 治 氏      副会長 富樫孝平 氏

5. 議 題

(1) 地域密着型サービス運営委員会委員、地域包括支援センター運営協議会委員の選出について・・・資料1-1・1-2

（事務局説明）各委員の選出区分や地区などによって提示案のとおり選任させていただいた。

【質問・意見】 特になし

<承認>

(2) 介護保険運営協議会について・・・資料2-1～2-4

（事務局説明）条例による設置規定及び規則、各委員会設置要綱について概略説明。

【質問・意見】 特になし

<承認>

(3) 高齢化の現状について・・・資料3-1・3-2

（事務局説明）年々人口が減少し高齢化率も年々高くなっている。65歳以上の人口は、令和2年度をピークに、以降は減少に転じている。昨年まで増加傾向にあった荒川地区の65歳以上の人口も今年度から減少に転じたことから、全地区において総人口と同様に減少している。また、65歳以上の減少率が総人口の減少率よりも緩やかであるため、高齢化率は高くなる傾向である。

【質問・意見】 特になし

<承認>

(4) 介護保険の実施状況について・・・資料4

(事務局説明) 高齢者は減少しているが、65歳以上の第1号被保険者の認定数及び認定割合は、ほとんどの介護度で増加している。また、昨年度の介護給付費においては、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ、福祉用具貸与、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、介護医療院などが前年比で増えている。

【質問・意見】

○委員：通所介護の件数と給付費が減ってきているが、どのように考えているか。

事務局：コロナ禍の影響も非常に大きいですが、利用者が求めるニーズが変わってきている。例えば運動機能を向上させ行動範囲を広げたいといったところから、今はリハビリが伸びている。

○委員：認定者数等の数値を示していただいているが、たとえば新発田市など人口も違うが、比率割合から見たときに他市町村と比べて村上市の要支援1～要介護5の合計は多いのか少ないのか、どこで判断すればいいのか。どういう風に掴んでいるか。

事務局：今回の資料は村上市の数値のみとなっている。県内、全国的にも要介護認定者数は増えている。村上市の特徴としては増えてはいるが伸びは少なく微増である。認定者数は4,000から4,100人台を行き来しており、県内の市町村と比べて比較的增加率は少ないと分析している。

○委員：今後も数字での説明があると思うが、ただ数字の説明だけでは何を見ればいいのか分からない。他市町村と比べて多い少ない、こういった理由で高い低いなど説明してほしい。

事務局：村上市の傾向や増減などは、その原因等もあわせて説明していきたい。

<承認>

(5) 地域包括支援センターの活動状況について・・・資料5

(事務局説明) 相談件数が大幅に増えている。訪問活動においては特に高齢者虐待によるものが増えており、高齢者虐待の通報件数が増えたことも特徴的である。コロナ感染症対策が緩和され徐々に介護予防教室への参加者も元に戻ってきているが、外出自粛などで人との交流ができず認知症の症状が進んだり、転びやすくなったり歩くのが億劫になり、集まりの場に出て来れなくなった方も多くいるため、積極的な参加を呼び掛けていく。

【質問・意見】 特になし

<承認>

(6) 地域密着型サービス事業所の運営状況について・・・資料6

(事務局説明) 今年度、事業所の指定の有効期間を迎える事業所が4事業所あり、そのうち1事業所が有効期間を更新している。

【質問・意見】 特になし

<承認>

(7) 高齢者福祉サービスの実施状況について・・・資料7

(事務局説明) 令和4年度から5年度にかけて廃止や新たに追加したサービスはない。

【質問・意見】 特になし

<承認>

(8) 第9期介護保険事業計画の策定について・・・資料8-1・8-2

(事務局説明) 令和6年度からの第9期計画について、昨年度末のアンケート調査の実施などを行い進めてきている。今後、計画策定に業者支援をもらいながら年度末に向けて当運営協議会で議論をお願いしていくことになる。なお、本年1月から2月にかけて行ったアンケート調査の概要及び調査報告書からの考察について、主だった点を説明。

【質問・意見】 特になし

<承認>

(9) その他・・・委員からの意見など

○山下委員：施設に関しては、長期で4人部屋に入りたいという方が非常に多いが、短期間リハビリして家に帰りたいという方がポツポツといる。また、在宅では高齢者と息子さんの2人暮らしや老々介護の世帯などは栄養や清潔面の保持ができていない家庭がある。虐待にあたるようなケースは居宅のケアマネジャーや支所地域福祉室等に相談し対応している。

○相馬委員：村上市全体で高齢化が進んでいるが、特に山北地域の高齢化対策で検討していることがあれば教えてほしい。

事務局：新規の介護事業所の参入がなかなか難しいので、ぜひ山北地区また村上地域を介護の職場として選んでいただけるような取り組みが必要と考えている。介護人材不足の対策については、第9期計画に盛り込みたい。

○郷内委員：6月に民営福祉会で市と懇談会を設け人材不足について相談した。

また、処遇改善加算について、職員の処遇を上げる大事なものであるが、事務作業が大変。加算ではなく基本報酬を上げるよう国に要請してほしい。

○小田委員：社会福祉協議会のデイサービスは利用実績のバラツキがかなりあり、朝日地区が非常に減っている。朝日地区のニーズが分かれば知りたい。

○佐藤委員：羽衣園のデイサービスも利用者は減少している。デイサービスに行くよりもリハビリで機能向上ができるならぜひ行ってみようと思う方が多いようだ。

○青山委員：薬剤師も在宅の方へ薬の配達を行っている。ひとり暮らしの方が多くなってきて、きちんと飲めていない方が多い。飲み忘れがないようにボックスやカレンダーにセットするなど工夫し、ヘルパーさんが入っていると対応してもらっているが、そうでないと押し入れにどっさり入っていたりする。心配な方がいたら医師に依頼してほしい。

○齋藤委員：山北地区はサービスの事業所がなく在宅生活ができない方がいる。住み慣れた地域で生活ができるように考えると、ヘルパーなどの介護事業所など、早急に対応してもらおうとよい。

○菅原委員：民生委員として色々な方の相談を受けている。年々訪問するお宅も増え、10年前は5～6人であったが今は20人を超えている。以前より交流が減り話す機会がなくなっていると感じる。

## 6. その他

(1) 令和5年度介護保険運営協議会の開催予定について・・・資料9

(事務局説明) 全体の運営協議会については年4回、地域包括支援センター運営協議会を年2回予定している。地域密着型サービス運営委員会を開催する場合は連絡する。

【質問・意見】 特になし

閉会挨拶 富樫副会長

7. 閉 会 午後2時50分